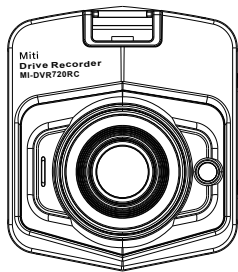


Miti

ドライブレコーダー

MI-DVR720RC

取扱説明書



保証書別添付

この度は、ドライブレコーダーをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受取りください。

目次

はじめに

■安全上のご注意(必ずお守りください).....	1
■使用上のご注意(必ずお守りください).....	4
■商品構成一覧表	5
■各部の名称と働き	6

準備

■本体の取り付け	8
■MicroSDカードについて	12
■電源について	14

操作方法





■緊急録画について	15
■動画記録モード	17
■撮影モード	21
■再生モード	24
■パソコンで記録ファイルの読み出し	26

その他

■記録時間について	27
■トラブルシューティング	28
■仕様書	29

安全上のご注意(必ずお守りください)

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

 警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
 注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
 禁止	絶対にしてはいけない事項
 強制	必ず守るべき事項



警告

**必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する**

- ❗ 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。(ヒューズ: 2A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には、絶対に取り付けない

- ⊘ 運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

- ⊘ ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示を注視しない

- ⊘ 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

- ❗ 車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

- ❗ ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付け

- ❗ 車体に穴を開けて取り付けの場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

- ⊘ 煙がでる、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因になります。
 - 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

ステーなどの小部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- ⊘ 誤って、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

使用しないコードの先端などは、絶縁処理する

- ❗ 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

指示に従って正しく配線・取り付けを行う

- ❗ 取扱説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

DC12V マイナスアース車で使用する

- ⚠ 12V/24V対応マイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

分解や改造はしない

- ⊘ 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。
 - 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

機器内部に水や異物を入れない

- ❗ 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがからないようにご注意ください。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子 ⊖ を外しておく


- ❗ バッテリーのマイナス端子 ⊖ を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する


- ❗ 取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意(必ずお守りください)


車載用以外には使用しない

-  車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドア等)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。


強い衝撃を与えない

-  落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。


コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

-  ショートや断線により、発火や故障の原因になることがあります。


必ず付属品や指定の部品を使用する

-  指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。


高温になる場所などに取り付けけない

-  直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になる事があります。


水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない

-  雨や洗車などで水がかかったり、湿気ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。


振動の多いところや不安定な場所に取り付けけない

-  強い曲面等に取り付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。


感電の原因になるので、接触禁止

-  雷が鳴り出したら、シガー電源アダプターには触れないでください。感電の原因となることがあります。

本機の通風孔を塞がない

-  本機内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

磁気性があるものに近づけない

-  本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保障するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。



注意

取付中は中エンジンを切る



本機を取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがONの状態を取り付けると、感電及び故障の原因になります。

フロントガラスと本機レンズの表面をきれいにする



車のフロントガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できない可能性があります。

画質が落ちることがあります



トンネル入出時のように、急に明るさが変化する場合、逆光が強い場合、夜等光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

シガー電源アダプターについて



付属のシガー電源アダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることがあります。

信号機の色を認識できないことがあります



LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

シガー電源アダプターについて



シガー電源アダプターを取り付けた状態でエンジンをかけた場合、保証電圧範囲(12V/24V)を超えたり電圧変動が起きる可能性があり、シガー電源アダプターや本機故障の原因になることがあります。

取付ステーの使用について



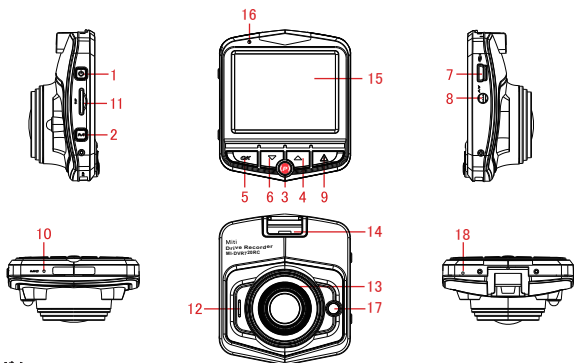
付属の取付ステーは運転に支障をきたさない位置、またエアバックなどの安全装置の動きを妨げないようにお取り付けください。

取付ステーの使用について



ステーを取り付ける前に、フロントガラスの表面をきれいにしてください。ほこり・異物は両面テープに影響があり、落下・脱落する恐れがあります。

各部の名称と働き



1.電源ボタン

長押しすると、電源がONになります；電源ONの状態では長押しすると電源がOFFになります。

2.MENUボタン(メニューボタン)

一回押しと、各モードの設定メニューを表示します。

もう一回「MENU」ボタンを押すと、もとのモードに戻ります。

※録画中はMENUボタンが動作しません。録画を停止してから動作します。

3.駐車監視ボタン

動画記録モードで、このボタンを押すたびに、駐車監視機能をオン/オフに切り替えます。オンに設定する時、画面の上に「P」の文字が出ます。オフに設定する時、画面は「R」です。

4.カーソル(▲)/表示切り替えボタン

カーソルの移動。

ドライブレコーダーとバックカメラ画像の表示を切り替えます。

5.OKボタン(確認ボタン)

設定メニュー：項目や設定値を決定します。

動画記録モード：録画開始/停止します。

撮影モード：静止画を撮影します。

再生モード：動画を再生/停止します。

6.カーソル(▼)/MIC ON・OFFボタン

カーソルの移動。

MIC ON/OFF切り替えます。

各部の名称と働き(つづき)

7.mini USB 端子

付属のシガー電源アダプターを接続します。

8.バックカメラ入力ポート

バックカメラのケーブルを接続すると、バックモードの録画も同時にします。

9.MODEボタン(△)ボタン

録画停止中、このボタンを押すと、各モードを切り替えます。



: 動画記録モード



: 撮影モード



: 再生モード

録画中押すと、緊急録画を開始します。

10.マイク

11. Micro SDカード挿入口

12.スピーカー

13.レンズ

ご注意:

工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

14.ジョイントレール

15.液晶モニター

16.動作ランプ

本機動作状況を表示します。

17.赤外線ライト

18.リセットスイッチ

本体が正しく動作しなくなった時に押してください。

ご注意:

リセットすると、強制的に再起動します。

本体の取り付け

取付ステーを使って、車に本体を取り付けます。

ご注意

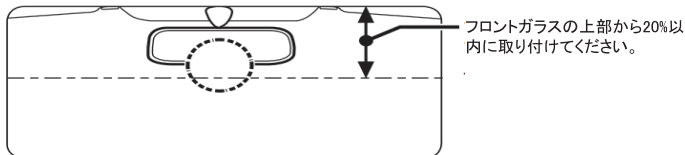
本機を車に取り付ける前に、次の内容をご確認の上、取り付けてください。

- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取り付けください。
- 車に取り付ける際には、運転に支障となる場所には取り付けないでください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- フロントガラスの上部20%の範囲以内に取り付けてください。
- 同梱品の取付ステーは両面テープで固定されます。一度取り付けると取り外しが難しくなります。ご注意ください。
- 同梱品のシガー電源アダプター以外の物を使用しないでください。
- ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガー電源アダプターが濡れないようご注意ください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時などに、鮮明に記録できません。
- シートベルトやエアバックなどの安全装置の動きを妨げ場所には、取り付けないでください。事故の際に、安全装置が動かず、けがの原因となります。

推奨取り付け位置(参考)

取り付け位置(正面)

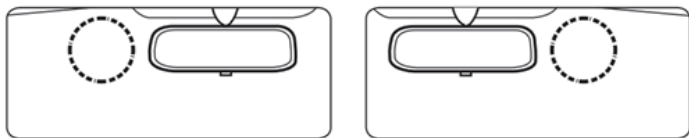
1. ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適の映像を録画できます。



本体の取り付け(つづき)

2. ルームミラーの後部、フロントガラスの中央部に設置できない場合は、ルームミラーの左、もしくは右側にも設置することができます。

※中央部に設置できない場合、録画映像が片方に寄る可能性があります。

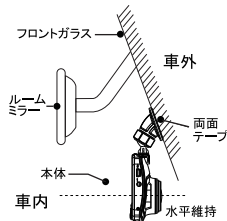
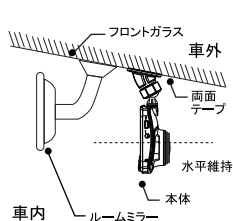
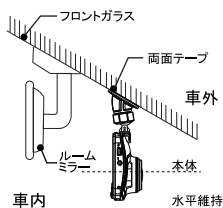


取り付け位置(側面図)

■ 一般的な乗用車

■ フロントガラスが寝ている車

■ ワンボックスやトラックなど

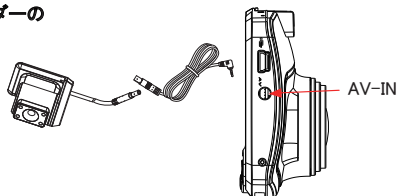


※図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。

※本機が取り付けいた状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと正しい状態で録画できません。

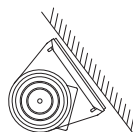
本体の取り付け(つづき)

1. バックカメラの端子をドライブレコーダーのAV-INポートに繋がします。



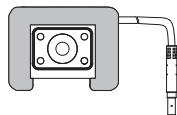
2. カメラの位置を確認します。

取り付けたい位置に合わせてカメラの角度を調整します。



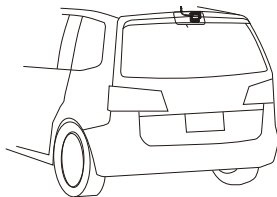
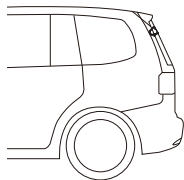
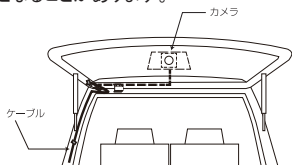
3. ブラケットを後部ガラスに貼り付けます。

カメラの角度を調整する後に、貼り付け面の汚れを良く拭き取り乾燥させたあとに、両面テープでしっかりと後部ガラスに貼り付けます。



4. ケーブルを配線します。

バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないか充分に確認してください。傷ができるとカメラ内部に湿気や水が入り、壊れる原因となることがあります。



本体の取り付け(つづき)

取り付け方法

1. 取り付ける場所を選び、その場所の汚れや油などをきれいに取り除いてください。

2. ステアの両面テープから保護フィルムを剥がして、フロントガラスに取り付けてください。

※固定力を強くするために、本体を取付後24時間以上放置してください。

※張り直しはテープの粘着が弱まり、脱落する恐れがあります。

3. 本体のジョイントレールをステアに合わせて、矢印の方向に本体をスライドして装着します。

※取り付けステアのジョイント部の向きに注意して、奥まで確実に装着してください。確実に装着していないと、走行中に落下する恐れがあります。

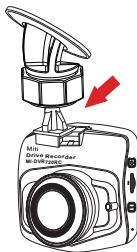
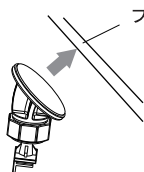
4. 車の進行方向にレンズの角度を調整します。

※取り付けステアのジョイント部に無理に力を入れないでください、破損することがあります。

保護フィルムを剥がす

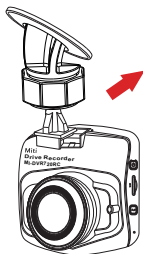


フロントガラス



取り外し方法

ステアから取り外す時には、本体を矢印の方向にスライドしてください。



MicroSDカードについて

ご注意

MicroSDカードを使う前に、次の内容を確認してご使用してください。

- 市販のMicroSDカードによって認識しにくいものや、挿入・取り出しにくいものがあります。4GB以上、32GB以下のMicroSDカードに対応しています。SDカードのスピードは「Class6」以上です。
- MicroSDカードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
- 本体の電源が入った状態で、MicroSDカードを抜き差しをしないでください。MicroSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- MicroSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットから電源アダプターを抜き、本体の電源ボタンで電源をOFFにしてください。必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してから、MicroSDカードを取り出してください。
※動作LEDが点灯している状態でMicroSDカードを取り出すと、記録映像が中断される、または一部分が削除される、若しくはMicroSDカードが破損する恐れがあります。
- MicroSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコンにバックアップすることをおすすめします。

MicroSDカードの抜き差し

1. MicroSDカードを抜き差しする時は、必ず電源が入っていないことを確認してください。

※本体作動中、MicroSDカードを抜き差しすると、データの破損や本体の故障になる恐れがあります。

2. MicroSDカードの向きを確認してスロットに差し込んでください。

本機動作ランプが点灯していないことを確認してください。



本体正面

本体背面



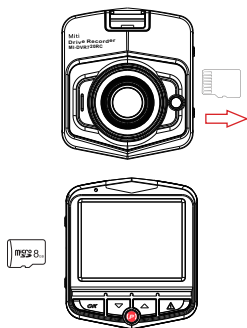
MicroSDカードについて(つづき)

3. MicroSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認してください。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

4. MicroSDカードを抜き出す時は、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。

※MicroSDカードを抜き出す前に、必ず本体の電源をOFFにしてください。
※MicroSDカードを抜き出す際、飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。
※事故発生時に記録された映像データが壊れないように、必ず本体の電源をOFFにしてからMicroSDカードを抜いて保管してください。



MicroSDカードのフォーマット

MicroSDカードを初めてご使用する時、或いは保護ファイルによりカード容量がいっぱいになる時、下記の手順よりMicroSDカードをフォーマットしてください。

※フォーマットする前に、重要なデータをバックアップしてください。

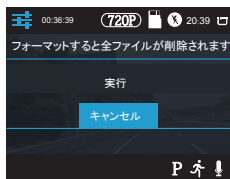
1. MicroSDカードが本体に装着されていることを確認してください。

2. 本体の電源を入れてください。

3. 録画停止中、「MENU」ボタンを押して設定メニューに入ります。

4. 「フォーマット」を選択し、「OK」ボタンで決定します。

「実行」を選択し、「OK」ボタンでフォーマットを実行してください。

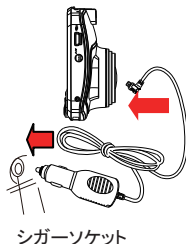


電源について

電源をONにするには

エンジンをかけ、シガーソケットに通電されると自動的に電源がONになります。(電源がONになると自動的に録画が始まります。)

手で電源のON/OFFを切り替えるには、本体の電源ボタンを2秒程度長押しします。



電源をOFFにするには

エンジンを切り、本体に電源供給がされない状態が10秒続くと、自動的に電源がOFFになります。

AUTO OFFについて

内蔵バッテリーで動作する場合、録画停止中または設定時間内にボタン操作をしないと、本体の電源が自動的にOFFになります。

緊急録画について

録画方法について

録画の方法:ループ録画と緊急録画

●ループ録画(常時録画)



本機の設定により、1分間/2分間/3分間のループで録画します。
常時録画時は、1分間/2分間/3分間単位で続けて録画します。MicroSDカードの容量を超えると、古いファイルから順番に上書きされます。

1分	1分	1分	1分	1分
----	----	----	----	----

ファイル続く…

●緊急録画

1.緊急録画とは

録画中緊急録画ボタン[]を押す、あるいは本機に搭載されているGセンサーが衝撃を感知すると、緊急モードで録画開始します。
緊急録画を開始すると、本機液晶右上に「」マークが表示されます。



2.緊急録画形式

緊急録画開始の時点により、ロックされる動画が違います。

(例)

※常時録画ファイル構成を「1分間」に設定時、動画①→②→③…録画し続けます。
※動画②で事故発生時、緊急録画が開始します。
※★は緊急録画の開始時点。



ファイル
続く…

事故発生

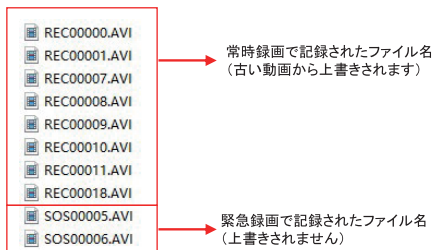
緊急録画について(つづき)

★1: 動画②の最初から10秒以内に事故発生、緊急録画を開始すると、動画①と動画②がロックされます。

★2: 動画②の最初・最後10秒以外に事故発生、緊急録画を開始すると、動画②だけがロックされます。

★3: 動画②の最終10秒以内に事故発生、緊急録画を開始すると、動画②と動画③がロックされます。

3. 緊急モードで記録されたビデオは上書きされません。



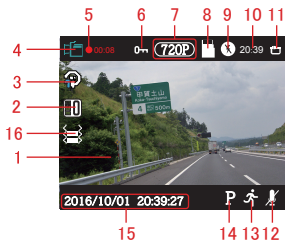
4. 緊急録画完了後、本機液晶右上の「」マークが消えて、常時録画に戻ります。

ご注意

- 緊急とは、衝撃を検知した場合という意味です。
- Gセンサーがソフト(高感度)に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。センサー感度がハード(低感度)に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。
- MicroSDカードの容量を超えた場合、古い映像データから順次を上書きされます。
- 緊急録画で記録されたファイルは上書きされません。緊急録画が多くMicroSDカードの容量を超えた場合、録画ができません。保存する必要があるファイルをパソコンにコピーしてから、MicroSDカードをフォーマットしてください。
- 常時録画と緊急録画モードで記録されたファイル名は違います。

動画記録モード

動画記録画面



1.液晶モニター

2.露出補正アイコン

3.ループ録画モードアイコン
1分間/2分間/3分間を表示します。

4.モードアイコン
動画記録モードのアイコンを表示します。



5.録画中アイコン
録画中点滅して、同時に、録画時間を表示します。

6.緊急録画中アイコン

7.解像度アイコン
映像記録の解像度を表示します。

8. MicroSDカードアイコン
MicroSDカードの状態を表示します。

挿入した時:  未挿入時: 

9.赤外線ライト
オンに設定する時:「」マークが表示します。
オフに設定する時:「」マークが表示します。

10.日付プリント
本機に設定された時刻を表示します。

11.電源アイコン
通電中は点滅します。

動画記録モード(つづき)

12. 音声録音アイコン

Voice Recordの状態を表示します。

オンに設定する時:  オフに設定する時: 

13. 動体検知アイコン

Motion Detectをオンに設定する時に表示します。

Motion Detect機能をONにすると、録画停止中、動体検知すると自動的に録画を開始します。録画してから10秒後、自動的に録画が停止します。

※引き続き動態を検知している場合は録画をし続けます。

14. 駐車モード アイコン

駐車モードの状態を表示します。

オンに設定する時: 「 P 」

オフに設定する時: 「 R 」

15. 日付・時刻

本機に設定された日付と時刻を表示します。

16. G-Sensitivityアイコン

G-Sensitivityの状態を表示します。バーが3つの場合最高感度です。

動画記録モードの設定

録画停止中、本体の「MENU」ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。



動画記録モード(つづき)



項目	設定内容	説明
解像度	720P(▲)	動画記録の解像度を1280×720に選択します。
	WVGA	動画記録の解像度を800×480に選択します。
ループ録画	1分(▲)	記録動画ファイルのループ記録時間を設定します。
	2分	
	3分	
露出補正	0(▲)	数値-3、-2、-1、0、1、2、3の露出補正を設定します。
Motion Detect	<input type="checkbox"/> (▲)	<p>動体検知機能を使用するかどうかを設定します。</p> <p>※動体検知機能は本機の動画記録モードしか使用できません。</p> <p>※動体検知機能は本機に電源を入れて、動画記録モードでのスタンバイ状態のみ使用できます。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>※動体検知機能は起動してから10秒録画します。10秒以内に続けて動体検知できなければ録画停止になります。</p>
Voice Record	<input type="checkbox"/>	映像だけを記録します。音声を同時に記録しません。
	<input checked="" type="checkbox"/> (▲)	映像と同時に音声も記録します。
駐車モード	<input type="checkbox"/> (▲)	駐車中、本体の電源がオフの状態では衝撃を感知すると、自動的に電源がオンになり録画を開始します。
	<input checked="" type="checkbox"/>	
日付プリント	<input type="checkbox"/>	動画に設定された日付や時刻を記録するかどうかを設定します。
	<input checked="" type="checkbox"/> (▲)	
G-Sensitivity	オフ	G-Sensorの感度を選択します。
	ソフト	
	ノーマル(▲)	
	ハード	
		※「ハード」に設定すると、強い衝撃だけに反応します。

▲は工場出荷設定値です。

動画記録モード(つづき)

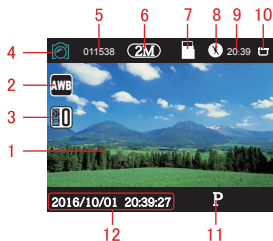
項目	設定内容	説明
ボタン音	<input type="checkbox"/>	ボタンのタッチ音を設定します。
	<input checked="" type="checkbox"/> (▲)	
WDR	<input type="checkbox"/>	WDR(ワイドダイナミックレンジ)機能をオン/オフに設定します。
	<input checked="" type="checkbox"/> (▲)	
日付/時刻	---	初期設定値は2016/07/01 「▲」ボタンで、日時の数字をアップします。 「▼」ボタンで、日時の数字をダウンします。 「OK」ボタンで、設定した項目を保存します。カーソルが自動的に次の項目に移動します。
Auto off	オフ(▲)	内蔵バッテリーで動作する場合、録画停止中また設定時間内にボタン操作をしないと、本体の電源が自動的にオフになります。
	30秒	
	1分	
	2分	
表示言語	簡体字中国語	本機メニュー表示言語を選択します。
	繁体字中国語	
	English	
	日本語(▲)	
フリッカレス	50Hz(▲)	東日本地域は50Hzに設定してください。 西日本地域は60Hzに設定してください。 ※記録撮影時にLED信号灯等のちらつきを防止し録画します。
	60Hz	
赤外線ライト	<input type="checkbox"/> (▲)	夜間撮影時の赤外線ライトによる補助を設定します。
	<input checked="" type="checkbox"/>	
	Auto	
液晶OFF	オフ(▲)	設定された時間が経過すると、自動的に液晶をOFFします。
	10秒	
	30秒	
	1分	
フォーマット	実行	Micro SDカードのフォーマットを行います。 ※Micro SDをフォーマットする前に、重要なデータをPCでバックアップしてください。
	キャンセル(▲)	
初期化	実行	本機すべての設定を工場出荷状態に戻します。
	キャンセル(▲)	
バージョン	---	本機のバージョンを表示します。

▲は工場出荷設定値です。

撮影モード

撮影画面



録画停止中に「MODE」ボタンを押すと、撮影モードに入ります。
液晶モニターで被写体を確認してから、「OK」ボタンを押すと、撮影します。



- 1.液晶モニター
被写体を表示します。
- 2.ホワイトバランスアイコン
- 3.露出補正アイコン
- 4.モードアイコン
撮影モードのアイコンを表示します。
- 5.撮影枚数アイコン
撮影可能数量を表示します。
- 6.解像度アイコン
静止画の解像度を表示します。



7. MicroSDカードアイコン
MicroSDカードの状態を表示します。

挿入した時:  未挿入時: 

- 8.赤外線ライト
オンに設定する時:「」マークが表示します。
オフに設定する時:「」マークが表示します。

- 9.日付プリントアイコン
画像に設定された日付や時刻を表示するかどうかを設定します。

- 10.電源アイコン
通電中は点滅します。

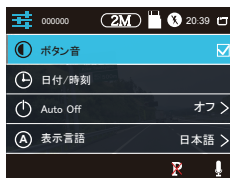
- 11.駐車モード アイコン
駐車モードの状態を表示します。
オンに設定する時:「」
オフに設定する時:「」

- 12.日付・時刻
本機に設定された日付と時刻を表示します。

撮影モード(つづき)

撮影モードの設定

撮影モードで、「MENU」ボタンを押すと、撮影モードの設定メニューが表示されます。



項目	設定内容	説明
解像度	2M(▲)	解像度を1920x1080Iに選択します。
	1.5M	解像度を1600x912Iに選択します。
	1M	解像度を1280x720Iに選択します。
ホワイトバランス	Auto(▲)	Auto、晴天、曇天、タングステン、蛍光灯
露出補正	0(▲)	数値3、2、1、0、-1、-2、-3の露出補正を設定します。
日付プリント	<input type="checkbox"/>	画像に設定された日付や時刻を表示するかどうかを設定します。
	<input checked="" type="checkbox"/> (▲)	
ボタン音	<input type="checkbox"/>	ボタンのタッチ音を設定します。
	<input checked="" type="checkbox"/> (▲)	

▲は工場出荷設定値です。

撮影モード(つづき)

項目	設定内容	説明
日付/時刻	---	初期設定値は2016/07/01 「▲」ボタンで、日時の数字をアップします。 「▼」ボタンで、日時の数字をダウンします。 「OK」ボタンで、設定した項目を保存します。カーソルが自動的に次の項目に移動します。
Auto off	オフ(▲)	内蔵バッテリーで動作する場合、設定時間内にボタン操作をしないと、本体の電源が自動的にオフになります。
	30秒	
	1分	
	2分	
表示言語	簡体字中国語	本機メニュー表示言語を選択します。
	繁体字中国語	
	English	
	日本語(▲)	
赤外線ライト	<input type="checkbox"/> (▲)	夜間撮影時の赤外線ライトによる補助を設定します。
	<input checked="" type="checkbox"/>	
	Auto	
液晶OFF	オフ(▲)	設定された時間が経過すると、自動的に液晶をOFFします。
	10秒	
	30秒	
	1分	
フォーマット	実行	Micro SDカードのフォーマットを行います。
	キャンセル(▲)	※Micro SDをフォーマットする前に、重要なデータをPCでバックアップしてください。
初期化	実行	本機すべての設定を工場出荷状態に戻します。
	キャンセル(▲)	
バージョン	---	本機のバージョンを表示します。

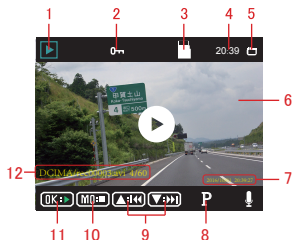
▲は工場出荷設定値です。

再生モード(記録ファイルの読み出し)

本機の再生モード画面

撮影モードで「MODE」ボタンを押すと、再生モードに入ります。
再生モードで、カードに記録した動画/静止画を確認できます。

再生モード画面



- 1.モードアイコン
動画/静止画を表示します。
2. 保護のアイコン
保護されたファイルのみ表示します。
3. MicroSDカードアイコン
4. 日付プリントアイコン
本機に設定された時刻を表示します。
5. 電源アイコン
通電中は点滅します。
6. 液晶モニター
7. 日付・時刻
動画や静止画を撮った時の日付と時刻を表示します。
8. 駐車モードアイコン
駐車モードの状態を表示します。

動画再生中の画面

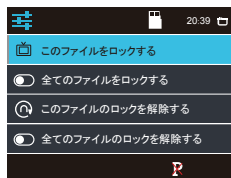
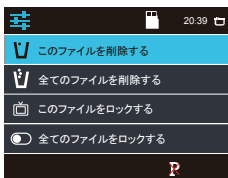


9. ファイル切り替えアイコン
カーソルボタンで前/次のファイルに切り替えます。
※動画再生中にカーソルボタンを押すことにより、2倍、4倍で早戻しと早送りができます。
10. 中止アイコン
動画再生中に「△」ボタンを押すと、再生を中止します。
11. 再生/一時停止状態表示
12. ファイル名/ファイル数
動画や静止画のファイル名とファイル数を表示します。
13. 再生時間
再生している動画の進行時間を表示します。

再生モード(記録ファイルの読み出し)つづき

再生モードの設定

再生モードで、本機の「MENU」ボタンを一回押すと、再生モードの設定メニュー画面が表示されます。



項目	設定内容	説明
削除	このファイルを削除する	選択されたファイル/全ファイルを削除します
	全てのファイルを削除する	
保護	このファイルをロックする	選択されたファイル/全ファイルをロックする
	全てのファイルをロックする	
保護解除	このファイルのロックを解除する	選択されたファイル/全ファイルのロックを解除する
	全てのファイルのロックを解除する	

パソコンで記録ファイルの読み出し

本機に記録されたファイルをパソコンで読み出すことができます。

※本機に記録されたファイルを読み出す時に、Windows XP、Windows 7/8/10のOSを使ってください。

MicroSDカードをパソコンと接続する

- 1.本機の電源OFFにしてください。
※電源ONの状態ではMicroSDカードを取り出すと本機とファイル破損の恐れがあります。
2. MicroSDカードを取り出して、カードリーダーに挿入してください。
※MicroSDカードのカードリーダーは付属しておりません。
※MicroSDカードは大切に保管してください。再度本機を使う前に、MicroSDカードを本機に挿入してください。
3. MicroSDカードを装着したカードリーダーをパソコンに接続して、MicroSDカードを開き、「DCIMB」あるいは「DCIMB」フォルダーを開きます。
「DCIMA」はドライブレコーダーが録画の動画、「DCIMB」はバックカメラが録画の動画になります。
4. 再生したいファイルをダブルクリックして、Windows標準のWindows Media Playerで再生することができます。

本体を直接パソコンと接続する

本機を直接パソコンに接続することができます。

1. USBケーブルで本機とパソコンを接続してください。自動的に録画モードに入ります。
約1秒後、下記の画面に入ります。
※USBケーブルは付属しておりません。
2. 本機の「OK」ボタンで「Storage」を選択すると、自動的に外部ストレージを開きます。「DCIMA」あるいは「DCIMB」フォルダーを開いてください。
3. 再生したいファイルをダブルクリックして、Windows標準のWindows Media Playerで再生してください。



記録時間について

本機に使用するMicroSDカードにより、記録時間が異なります。

MicroSD カード容量	記録時間	
	(800 × 480)WVGA	(1280 × 720)720P
8GB	約70分	約45分
16GB	約155分	約100分
32GB	約320分	約220分

- 本機は4GB以上、32GB以下のMicroSDカードに対応しています。
- 「Class 6」以上のMicroSDカードを使用してください。
- 上記記録時間は目安であり、保証値ではありません。
- 被写体や周囲環境により、記録可能な時間と件数が変化することがあります。

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認して下さい。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店、サービスセンターまでお問い合わせください。

こんなとき	ここをお確かめください	こうしてください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の電源はONになっていますか？ ●シガー電源アダプターは外れていませんか？ ●ヒューズが切れていませんか？ ●充電されていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の電源をONにしてください。 ●シガー電源アダプターを差し込んでください。 ●ヒューズを交換してください。(2A)
誤作動をする	—	<ul style="list-style-type: none"> ●本機のリセットボタンを押してください。 ●本機を再起動してください。 ●再起動とリセットしても治らない場合は、電源をOFFにして、挿入しているMicroSDカードの中のデータをバックアップしてから、フォーマットして使用してください。 ●工場出荷設定に戻してください。
液晶画面に輝点がある	液晶パネルの特性です、不良ではありません。 (有効画像素99.99%以上)	—
録画できない	<ul style="list-style-type: none"> ●MicroSDカードを装着していますか？ ●MicroSDカードの容量を超えていませんか？ ●MicroSDカードエラーが発生していませんか？ ●録画モードに切り替えましたか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●MicroSDカードを本体に装着しているかを確認して下さい。 ●「SDカードがいっぱい！」が表記される場合は、電源をOFFして、装着しているMicroSDカード中のデータをバックアップしてから、フォーマットして使用してください。 ●MicroSDカードを交換してください。 ●本機の「MODE」ボタンを押して、録画モードに切り替えてください。

仕様書

型番	MI-DVR720RC
商品名	バックカメラ付きドライブレコーダー
ディスプレイ	2.31インチLCD
レンズ	100万画素カラーCMOS
視野角	D100° (H83° , V46°)
フレームレート	27 fps
バックカメラレンズ	30万画素カラーCMOS
バックカメラ視野角	D58° (H53° , V34°)
バックカメラフレームレート	25fps
録画ファイル構成	1/2/3分単位循環設定可能
動画解像度	720P 1280X720
	WVGA 800X480
バックカメラ動画解像度	720 × 480
静止画解像度	2M 1920X1080
	1.5M 1600X912
	1M 1280X720
バックカメラ静止画解像度	0.3M 720 × 480
Motion Detect	ON/OFF設定可能
音声録画	ON/OFF設定可能
G-Sensor	○
ファイル	.AVI(動画)
圧縮方式	.JPG(静止画)
電源電圧	DC5V(入力)／DC12V/24Vシガー(シガー入力)
内蔵電池	200mAh
本体寸法	63(W)*72(H)*33(D)mm
保存温度範囲	-10～+60°C
動作温度範囲	0～50°C
付属品	シガー(約4m) × 1
	延長ケーブル(5.5m) × 1
	取付ステー × 1
	取扱説明書 × 1 ・ 保証書 × 1
	バックカメラ(0.5m) × 1

※紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。
 ※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

Miti MI-DVR720RC

輸入元:株式会社三友商事

2016.11